

もっと地域に貢献するイオンモールへ①

私たちは地域の皆さまの生活を支えるインフラ拠点として、つねに必要なとされるモールづくりをめざします。



向日市成人式【イオンモール京都桂川】

公共性の高い施設・サービスの導入

イオンモールは、ショッピング、飲食、アミューズメントだけでなく、医療機関、行政窓口、銀行、郵便局など、地域の皆さまが必要とするさまざまな施設を取り揃え、生活サービスの向上に努めています。また館内の多目的イベントスペース「イオンホール」や「イオンシネマ」を自治体や各種団体の皆さまにご利用いただくなど、地域住民の皆さまにとってなくてはならない商業施設をめざしています。



郵便局 イオンモール座間【神奈川県】



総合クリニック イオンモール幕張新都心【千葉県】



市立図書館 イオンモールつがる柏【青森県】



職業紹介所 THE OUTLETS HIROSHIMA【広島県】



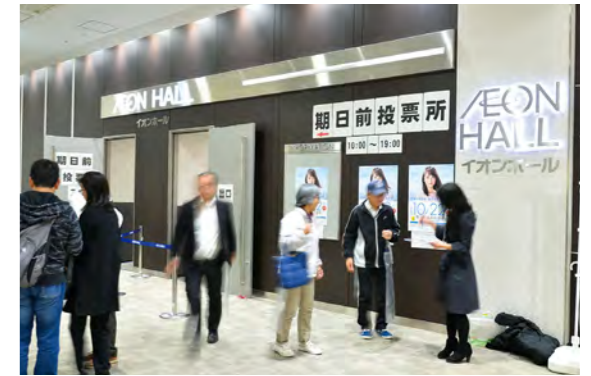
行政コーナー イオンモール東浦【愛知県】



祈禱室 イオンモール沖縄ライカム【沖縄県】

投票所の設置

2019年4月に行われた第19回統一地方選挙では、全国44のイオンモールおよびイオンショッピングセンターに期日前投票所（一部では当日投票所）を設置。大規模な駐車場や乗り入れバスなどにより来場しやすく、快適な施設環境で皆さまに投票をしていただくとともに、モールに勤務する従業員にとっても投票しやすい環境を提供しました。2019年1月に執行された「つがる市議会議員選挙」においては、イオンモールつがる柏（青森県）に設置された投票所からの投票が期日前投票所全体の半数を超えるなど、投票所の利便性や投票率の向上につながりました。今後の選挙でも各モールで積極的に設置を進める予定です。



EV(電気自動車)の普及・利用を促進

2008年より当社は地球環境の保全、持続可能な社会の実現をめざし、CO₂を排出しない電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及を推進するため、各モールにEV充電器の設置を進めています。2019年2月末現在、国内146モールに計1,829基の充電器ネットワークを構築したほか、中国でも12モールに503基を設置。2017年には企業によるEV車の仕様や環境整備促進をめざす国際的なビジネスイニシアチブ「EV100」に日本企業として初めて参加しました。



ユニバーサルデザイン

あらゆるお客さまに安心して快適にお過ごしいただけるよう、当社は本格的なユニバーサルデザインを導入し、定期的にアンケートを行うなどしてお客さまからのご意見を伺い、継続的な改善に取り組んでいます。また、お客さまの質問を音声で認識し、最適なお案内をするデジタルサイネージを設置するなど、最先端の技術の導入も積極的に進めています。



公共交通機関の利用促進

駅から徒歩圏内のモールの一部では、鉄道会社や交通局と連携して電車でご来店されたお客さまに特典を提供しているほか、駅、空港とモールを結ぶシャトルバスを運行するなど、お客さまが公共交通機関を利用してご来店いただける環境の整備に努めています。



もっと地域に貢献するイオンモールへ②

私たちは、各地域の文化や産業を尊重し、ともに成長・発展するモールづくりを行っており、地元の魅力を再発見できる体験や、大切にしてきた伝統を次の世代へ継承する機会を提供しています。



「究極のローカライズ」で培った信頼関係を礎にギネス世界記録®を達成

2015年に始めた「究極のローカライズ」企画とは、各モールから地域の魅力を発信する独自企画を募り、優れたプランを選んで実践する試みです。その初年度に「こども将棋王決定戦」を企画・実行したイオンモール天童（山形県）は、その後も天童市や関係団体との交流を深め、将棋文化の発展に貢献してきました。そして2018年10月、市制施行60周年記念事業として同モールで開催した「二千局盤来2018」で同時対局数のギネス世界記録を達成しました。約8ヶ月にわたって40を超える団体の皆さまとともに準備を進めた結果、全国から幅広い世代の方がモール駐車場の特設会場に集まり、約4,700人による一斉対局が実現。見事に記録を更新しました。

地域貢献の積み重ねで、地元を根ざすモールづくり

「こども将棋王決定戦」を継続して開催するなど、さまざまな地域貢献の取り組みを通して地元の皆さまと信頼関係を築いてきたことが「二千局盤来2018」の成功につながったと感じています。地域の皆さまが強い思い入れを持つこの取り組みを必ず成し遂げようという思いで、率先して実行委員会の打ち合わせに参加し、何度も話し合いを重ねました。全国のモールで開催した「こども将棋王決定戦」の予選会場でもチラシを配るなど、積極的なPRが全国各地からの参加につながりました。また、約5,000人が集まる会場として、お買い物をされるお客さまのことも考慮して開催日を調整したほか、当日の入場を効率化し、スムーズで安全な運営を追求したことで大きなトラブルなく終わられて安

心しました。「二千局盤来2018」を通して天童市の皆さまと結束を深め、さらに地域に根ざしたモールへと進化できたと感じます。今後は、地元の皆さまが待ち望む天童市出身のプロ棋士の誕生にも協力するほか、まだまだたくさんある魅力的な観光資源を活かして天童市を盛り上げてまいります。

イオンモール天童
ゼネラルマネージャー
小寺 和也
営業担当
清野 七海



市民の皆さまと取り組んだ文化振興

将棋文化の普及に対するこれまでのイオンモールさんの積極的な姿勢を見て、「二千局盤来2018」への協力を依頼し、会場の提供を含めたいへん尽力いただきました。「二千局盤来2018」は、市制60周年を機に市民の皆さまと一緒に盛り上がることを目的とし、将棋を指せる人を増やしたいという思いで挑戦しました。参加者がなかなか集まらず一時は記録達成が危ぶまれましたが、イオンモールさんが持つ宣伝力や地域の皆さまの将棋への思いが、予定人数を上回る参加につながったと感じています。地域が一体となって記録を更新できた達成感により、一人ひとりの将棋に対する愛着を深めることができました。また、天童市の枠を超えて、全国へ将棋文化を発信できたことは嬉しいです。将棋の振興や普及など、イオンモールさんには今後もさまざまなサポートを期待しています。

天童市経済部商工観光課
課長 村山 秀和様



将棋文化の浸透をめざして企画を構成

将棋のまちである天童市の意地にかけて、「二千局盤来2018」は絶対に成功させたいという思いがありました。参加を迷っている方の中には将棋を指したことがない人も多く、駒の動かし方などを教えるために行政と協力して市内の各エリアで臨時的教室を開くほか、あらかじめ対局相手を決めて家族や友人と参加できる申し込み枠を設けて参加のハードルを下げるなど、さまざまな工夫を検討して記録達成をめざしました。イオンモールさんでも本番前にプレイベントを開催していただくなど、子どもや普段将棋に関心のない方の参加につながり、「二千局盤来2018」は天童市の文化を普及する素晴らしい機会になったと感じます。今後は、さらにイオンモールさんと連携しながら将棋や駒づくりの伝統をつなぎ、天童市が拠点となって国内だけでなく世界にも広めていきたいです。

公益社団法人 日本将棋連盟
天童支部会長 大泉 義美様



継続した取り組みで、将棋文化を全国に発信

● こども将棋王決定戦
年に1度開催してきた「こども将棋王決定戦」。4回目となる今回は、当社の全面的なサポートにより全国で1,132名が参加して予選を行うなど、年々規模を拡大しています。各ブロックを勝ち抜いた8名と天童エリアの上位3名、日本将棋連盟天童支部推薦枠1名の計12名がイオンモール天童に集まり、2018年10月の決勝戦に参加しました。



「こども将棋王決定戦」は、全国で予選を行うため、将棋のまちとして天童市の知名度を向上させる機会となりました。これからも決勝戦を天童市で開催していただくことで、将棋を指す全国の小学生がめざす場所として天童市を意識してもらえたら嬉しいです。また、天童市は、将棋以外にもたくさんの観光資源を持っています。イオンモールさんと協力しながら、さらに地域の活性化に取り組んでいきたいです。

一般社団法人 天童市観光物産協会
専務理事 高橋 正義様

